

ホスピス緩和ケア週間 パネル展あいさつ

ホスピス緩和ケア週間 in Tokushima 2023(10月8日(日)~10月14日(土))
テーマ【皆さんと一緒に緩和ケアで思いやりのある地域社会を創りましょう】

ご挨拶

ホスピス緩和ケア週間in Tokushima 2023のパネル展によるこそ
世界ホスピス緩和ケアデーは10月14日(土)世界各国のホスピス緩和ケア関連施設や団
体がさまざまなイベントを開催します。今年のテーマは【皆さんと一緒に緩和ケアで思いや
りのある地域社会を創りましょう】です。

World Hospice and Palliative Care Day



COMPASSIONATE COMMUNITIES
Together for Palliative Care
14 OCTOBER 2023
WORLD HOSPICE & PALLIATIVE CARE DAY

日本ホスピス緩和ケア協会では2006年度より、「世界ホスピス緩和ケアデー (World Hospice & Palliative Care Day)」を最終日とした一週間を「ホスピス緩和ケア週間」とし、ポスターの掲示及びセミナーや見学会の実施などを通して、緩和ケアの普及啓発活動に取り組んでいます。

徳島では18回目のホスピス緩和ケア週間の開催です。4年ぶりの前夜祭は近藤内科病院の緩和ケアガーデン(9月30日(土))で行います。パネル展はマルナカ徳島店にて10月1日(日)~10月14日(土)で開催され、県下のホスピス緩和ケア関連施設や団体のホームページに掲載されます。

2002年のWHOの緩和ケアの定義にあるように、命をおびやかす病期の患者さんすべてに緩和ケアが提供され、病院でも自宅にも緩和ケアが広がる地域社会を目指します。コロナ禍で学んだACP(アドバンス・ケア・プランニング)自己決定支援の実践とチーム医療の充実を図り、地域包括ケアと緩和ケアを柱にして安心できる地域社会創りに努め、今年のテーマである【皆で緩和ケアで思いやりのある地域社会を創る】を実現したいと思いま

2023年9月30日

認定NPO法人ホスピス徳島がん基金

理事長 近藤 彰

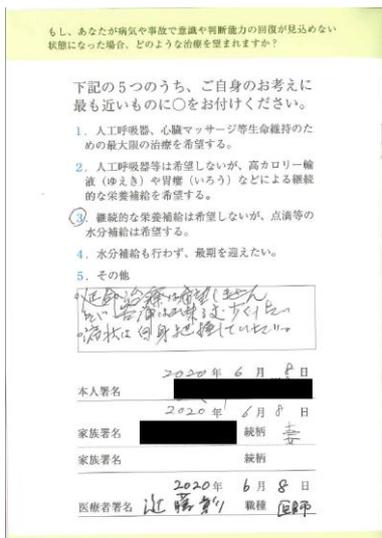
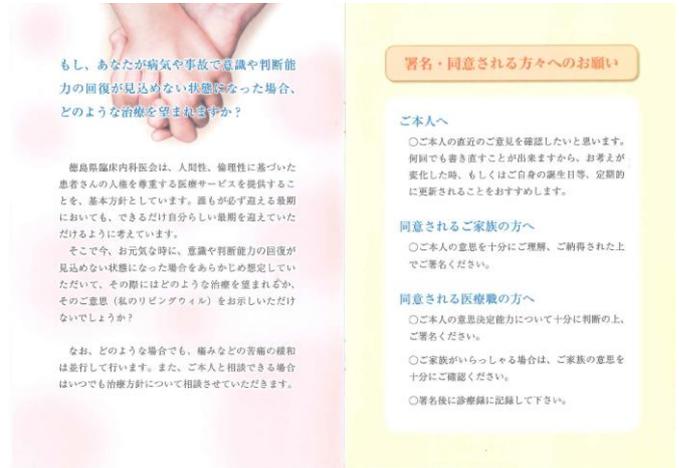
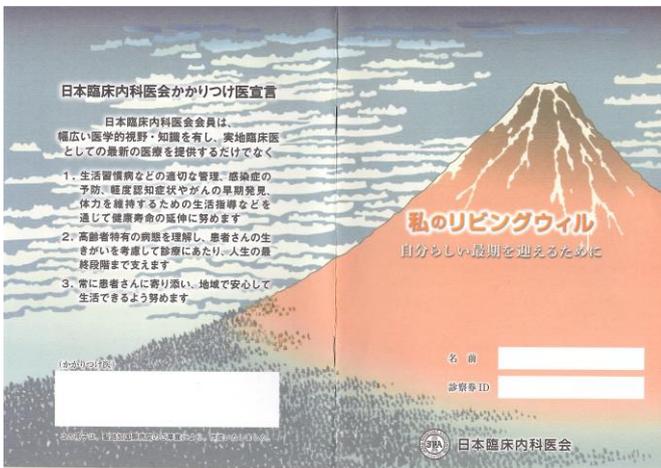
ACP（アドバンスド・ケア・プランニング）のすすめ

我が国は成熟した社会になり、自分の最期をデザインすることができる時代になりました。

私たち臨床内科医会ではACPは自己決定支援であり（狭義のACP）が重要と考えています。人生最期の医療ケアの自己決定を支援するのがかかりつけ医の役割であり、ACPが患者・家族の皆さんとかかりつけ医の信頼を高めると考えております。

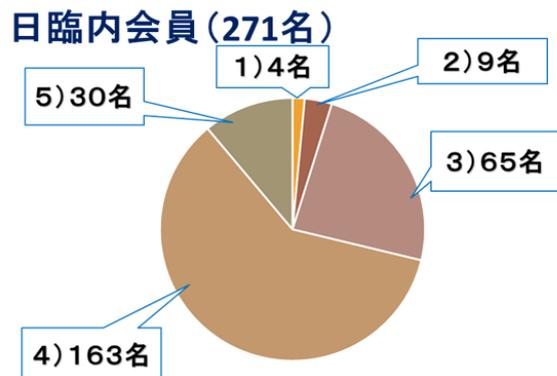
がんのみならず様々な疾患の治療が進歩して長く生きる時代です。ご自分の最期の医療ケアをどうするかをご家族と共に考えていただき「私のリビング・ウィル」の小冊子にある（1）～（5）の項目の中でご自分の考えと近いものに○をいれていただくという方法です。

私のリビング・ウィルの実際を示します



この方はお元気な90歳の方で行くたびにエージシューターという素晴らしいゴルフのプレイヤーです。この書面の2年後転落事故を起こし人工呼吸器が必要になった際にこの自己決定が大変有用でした。

自身の最終段階の医療はどうしたいか (アンケート結果)



参考までに全国15000のクリニックの先生のアンケート結果です。大多数が4の何もしないで自然に最期を過ごしたいという結果でした。



訪問診療・往診専門

医療
法人

かさまつ在宅クリニック

徳島市内を中心に、ご自宅での療養を希望される方の訪問診療、往診を専門に行うクリニックです。
医師、看護師が他職種と連携して、365日24時間対応しています。

【当院の理念】

- 「患者さんの心の声に耳を傾け、患者さんに寄り添う医療を提供します」
- 「住み慣れた家で過ごせる幸せを実感できる在宅診療を実践します」
- 「子供から大人まで、家で過ごしたい患者さんの希望を実現します」

【このような患者さんが対象です】

- ・通院困難な方、寝たきり状態の方
 - ・がん、難病で自宅療養中の方
 - ・在宅酸素療法や人工呼吸器治療をされている方
(気管切開をされている方の管理も可能です)
 - ・中等度から重度の認知症があり自宅療養中の方
 - ・脳梗塞後遺症などで経鼻胃管栄養、胃ろう栄養されている方
 - ・床ずれなどの外科的処置が必要な方
- ★小児の在宅患者さんは、小児科専門医が診療します。
★病状の変化があれば、連携病院の主治医と連絡を取りながら治療を進めてまいります。

【費用の目安】

1割負担の患者さんで、医師が1ヶ月に2回訪問診療すると、おおよそ6,000円になります。(検査・注射・薬代など別途)

【診療範囲】

徳島市内中心その他、小松島市、北島町など、クリニックから車で30分程度の範囲です。

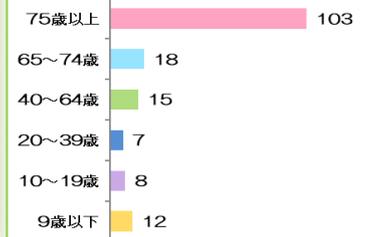
成人疾患別患者数(人) (2023年5月現在)

循環器疾患	16
脳血管疾患	21
認知症	13
悪性新生物	20
骨折・筋骨格系疾患	19
糖尿病	1
呼吸器系疾患(COPD以外)	9
COPD	1
神経系疾患(指定難病以外)	2
精神系疾患(統合失調症、うつ病など)	2
脊髄損傷	3
指定難病(神経系)	16
指定難病(神経系以外)	4
膠原病(関節リウマチ、自己免疫疾患など)	4
老衰	0
その他	11
合計	142

医療的ケアを受けながら、
地元の小学校に通っています♪



年齢別患者数(人) (2023年5月現在)



小児訪問患者の現状(2023年9月現在)

訪問患者数 21名(20歳以上の症例3例)

医療的ケア	人数	
気管切開(喉頭気管分離)	11名(7名)	気管切開+胃瘻 11名
胃瘻	16名	
人工呼吸器	6名	
侵襲的陽圧換気(IPPV) 24時間	4名	
” 夜間のみ	1名	
非侵襲的陽圧換気(NPPV) 夜間のみ	1名	
中心静脈栄養(IVH)	0名	
在宅自己導尿	1名	
インスリン自己注射	0名	



【ご自宅で点滴や採血もできます】

【在宅薬剤師が勤務しています】

- ・医師の処方チェック(疑義照会減少)
- ・調剤薬局との連携
- ・院内薬品の在庫管理
- ・退院前カンファレンスへの参加
- ・初回往診時の処方履歴の確認など



【在宅看取り患者数】

- ・令和2年度 47人(内 悪性新生物患者 30人)
- ・令和3年度 57人(内 // 31人)
- ・令和4年度 44人(内 // 31人)

〒770-8054 徳島市山城西4丁目13-3

電話: 088-679-6393 【受付】月曜日~金曜日(土日祝を除く) 午前9時~午後5時

ホームページ: <http://www.kasamatsu-zaitaku.com> Eメール: jimu.casa@gmail.com

フェイスブック: <https://www.facebook.com/kasamatsu.zaitaku.clinic/>

阿南医療センター 緩和ケアチーム



緩和ケアとは

心や体の苦痛を取り除き、患者さんやご家族が自分らしい生活を送ることができるようにするケアのことです。がんと診断された時から、外来・入院を問わず、心や体の苦痛を少しでも和らげることができるように様々な専門スタッフが支援します。

緩和ケアスタッフの紹介



医師

身体の痛みや痛み以外（吐き気、息苦しさ、倦怠感、不眠、せん妄など）の症状緩和を図ります



緩和ケア認定看護師

身体的・精神的な苦痛を理解し、患者さんやご家族に寄り添った看護を提供します



薬剤師

患者さんやご家族の薬への不安や疑問に対して、説明や服薬指導を行います



理学療法士/作業療法士/言語聴覚士

呼吸や嚥下、日常生活動作、疼痛緩和、リンパ浮腫などの症状緩和を図ります



管理栄養士

様々な副作用のある患者さんの栄養状態の維持・改善を図ります



公認心理師

患者さんやご家族の心の苦痛や不安を緩和し、意志決定を支援します



患者支援センター

患者さんやご家族が自分らしく生活できるよう社会制度・資源の情報を提供します

PICK UP がん相談窓口

入院や外来の患者さんだけでなく、地域の住民の方々などのがんの相談にも応じています

患者サポート相談窓口
がん相談

緩和ケア外来/緩和ケア病棟

- 👉 緩和ケア外来：完全予約制
- 👉 毎週月・木・金の9：30～11：30
- 👉 2023年11月より緩和ケア病棟 再開予定



「がん」と診断されても
住み慣れた地域で
自分らしく暮らしていくために…



がんで療養中の方へ ご自宅で過ごす際の 治療や介護に関することなど 様々なご相談に応じています

一般社団法人徳島市医師会

徳島市医師会では、在宅医療や介護の相談窓口として『徳島市在宅医療支援センター』を設置しております。徳島市在宅医療支援センターは、市民の皆さまから在宅医療や介護に関する一般相談に対応するとともに、高齢者を支える多職種（医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャーなど）の連携を促進するための活動を行っています。

がん治療に伴う苦痛やつらさ（痛みや吐き気、倦怠感、心のつらさなど）をやわらげる治療＝緩和ケアについて知りたい

往診してくれる眼科や耳鼻咽喉科等の医師を紹介してほしい

徳島市在宅医療支援センター

介護などの支援が必要な場合は、徳島市地域包括支援センターと連携しています

お問い合わせ先・相談専用フリーダイヤル / 0120-65-3960

《平日（月～金曜）9:00～17:15 ※祝日・年末年始をのぞく》

～ 感染症対策を万全にして対応しています ～



「在宅主治医を紹介します！」



徳島市医師会では、訪問診療をうけたいが、在宅主治医が見つからず困っている方のために、42の医療機関で在宅医療を提供するネットワーク：徳島市医師会在宅医療ネットワーク（通称：TIZI-NET）を構築し、在宅主治医を紹介しています。

「ずっと家で過ごしたい」、「一時的にでも家で過ごしたい」とのご希望に少しでも添えるようサポートしています。

在宅医療に関する動画をYouTube配信しています

※ YouTube内で「徳島市 在宅医療」で検索いただいてもご視聴できます



徳島市医師会ホームページにて、徳島市内にある在宅療養支援診療所の所在などを公開しております。是非ご利用ください。

<https://www.tokushimashi-med.or.jp/zaitakuiryo/>



がん検診率向上プロジェクト

■プロジェクトの趣旨

若者から大切な家族や親しい方に宛てて、がん検診をすすめるメッセージカードを書いてもらい、それを送ることで、がん検診に関心をもってもらおうというものです。普段は言いにくい感謝の気持ちをメッセージカードに添えて伝えることもできますし、親は子どもから送られたカードを記念に残すこともできます。家族からの心のこもった呼びかけが、がん検診受診率の向上につながります。

■次世代健康教育事業 出前講座

県内の小中学校・高校に出向き、医師からのがんについての講話及びがん患者さんの体験談、大切な方へのメッセージカードの作成を行います。講話を聞くことにより、がんが身近な病気であるということや検診の重要性を知ってもらい、児童・生徒自身が大人になった時にも検診を受けてもらいたいと考えています。



池田高校辻校



城之内中学校



富岡東高校羽ノ浦校



★2023年度 出前講座でのメッセージカード作成★

日付	学校名	対象	人数	枚数	講話演題／講師（敬称略）
1/12	徳島中央高校 定時制夜間部	全学年	31	16	「がんを予防する生活習慣」 郡利江（むつみホスピタル）
1/19	小松島高校 勝浦校	1年生	30	23	「生活習慣病とがん」 郡利江（むつみホスピタル）
1/25	しらさぎ中学校	全学年	50	21	「がんを予防する生活習慣」 郡利江（むつみホスピタル）
3/14	徳島中央高校 定時制昼間部	全学年	120	92	「がんを予防する生活習慣」 郡利江（むつみホスピタル）
6/14	池田高校辻校	1年生	41	46	「がんを予防する生活習慣」 住友正幸（徳島県立三好病院）
6/22	川島高校	全学年	356	344	「がんを予防する生活習慣」 川端泰枝（徳島県立中央病院）
6/29	城ノ内中学校	2年生	140	131	「がんについて」 川崎陽二（AWAがん対策募金）
7/3	富岡東高校 羽ノ浦校	1.2年生	80	80	「がんと生活習慣」 郡利江（むつみホスピタル）
7/14	富岡東高校 羽ノ浦校	3年生	36	36	「がん体験談」 川崎陽二（AWAがん対策募金）
7/14	城北高校	1年生	271	243	「大人も知らないがんの真実」 早淵修（徳島県立中央病院）
7/19	鳴門高校定時制	全学年	42	28	「がんを予防する生活習慣」 郡利江（むつみホスピタル）
8/3	吉野川高校	全学年	300	273	「がんを予防する生活習慣」 滝沢宏光（徳島大学大学院）
9/12	鳴門高校	1年	40	40 (見込)	「がんを予防する生活習慣」 川崎陽二（AWAがん対策募金）
9/15	鳴門高校	1年	40	40 (見込)	「がんを予防する生活習慣」 郡利江（むつみホスピタル）
合 計			1,577	1,413	

**NPO法人
AWAがん対策募金**





NPO法人AWAがん対策募金(あわがん)

●設立趣旨

広く県民を対象とし、がん患者並びにその家族の経済的負担を軽くする為の援助活動の支援、がん医療の均てん化に役立つ患者・患者会等への活動の支援、在宅緩和ケアに必要な介護用品の支援、がんに関する啓発活動の支援に貢献します。

●がん検診率向上プロジェクト

若者から大切な家族や親しい方にあてて、がん検診をすすめるメッセージカードを書いてもらい、がんやがん検診に関心をもってもらおうというものです。



●患者支援

- ①患者への支援・・・学生のいるご家庭に教育費の支援を実施（累計244名）
 - 2020年度・・・44名（50,000円/人）
 - 2021年度・・・39名（50,000円/人）
 - 2022年度・・・50名（40,000円/人）
 - 2023年度・・・44名（35,000円/人）
- ②患者会への支援・・・阿南医療センターがんサロン/日本オストミー協会徳島支部
あわホームホスピス研究会へ毎年20,000円を寄付
- ③在宅緩和ケアに必要な介護用品の支援
 - 2020年度・・・訪問看護st.共栄へ電子血圧計を寄贈
・・・訪問看護st.あわにマイクログラインダーを寄贈
 - 2021年度・・・県内13ヶ所の訪問看護st.へご希望の介護用品を寄贈
 - 2022年度・・・訪問看護st.れんげ草へパルスオキシメーター・電子血圧計を寄贈
・・・ほまれ訪問看護st.へ血圧計・オキシチェッカーを寄贈
・・・訪問看護st.ピオスへ抗菌レザー診療台・聴診器を寄贈
 - 2023年度・・・どりーまあサービス訪問看護st.へパ低周波治療器・聴診器を寄贈
・・・さわやか徳島訪問看護st.へ吸引器を寄贈
・・・西部健生訪問看護st.へ吸引器発電機を寄贈

●募金箱の設置

(株)キョーエイ29店舗/TOKUSHIMA COFFEE WORKS 3店舗/徳島県庁生協売店
徳島県立中央病院/Honda Cars 小松島大林店/(株)SGIC/直心庵/徳島県医師会、他

●寄付金付き自動販売機の設置

県内に37台。売り上げの一部がAWAがん対策募金に寄付されます。

協賛企業：徳島バナナ(株)/(株)スミフルジャパン/大塚製薬(株)/大塚ウエルネスベンディング(株)
(株)キョーエイ/徳島ペブシコーラ販売(株)/(有)オハラ/尙栄興自動車販売/(株)谷食糧
(株)コート・バール徳島ゴルフクラブ/喜多機械産業(株)/(株)岡部機械工業、他

AWAがん対策募金の活動にご賛同いただける方は、是非ご入会下さい。

お問い合わせ先：NPO法人AWAがん対策募金(あわがん)事務局

TEL 0884-23-3553/FAX 0884-23-2588/E-Mail awagan@mbr.nifty.com

近藤内科病院【ホスピス徳島】

コロナ禍での学び

緩和ケア病棟では感染予防のため患者の皆様はご家族と会う機会が制限されています。

当病棟ではご家族との面会の機会をとっていただくために、季節行事や、お誕生日会の開催などを行いながら、テレビ面会やガラス越し面会を実施しています。

面会制限の中、患者の皆様だけでなく、家族・キーパーと医療者との接触の機会も少なくなり、以下の4つのことが明らかになりました。

- 患者様と家族とのコミュニケーション不足
- 家族とスタッフのコミュニケーション不足
- 病状が正確に伝わりにくいこと
- 患者・家族の皆様が十分納得できないこと

これらの問題点を改善するため、患者の皆様を家族・ケアチームで共有する新たなシステム作りに取り組んでいます。

新たな課題

免疫療法などのがん治療の進歩で予後の改善が図られる時代になっています。一方、脳転移腫瘍の患者さんが急増してQOLが損なわれています。

令和5年9月現在

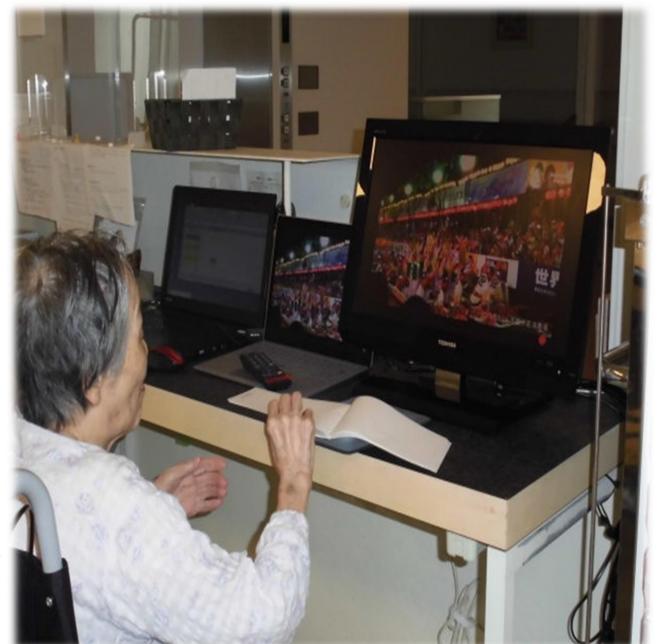


笑いヨガ風景

	7月	8月	9/1~20日
新規入院患者	15人	20人	10人
脳転移	4人	4人	2人

脳転移による症状として徘徊が多くなり、当病棟の方針として抑制しないことにしているため、離院や多動による歩行時の転倒、見当識障害による病室間違いなど様々な問題が生じています。症状が落ち着いて在宅に移行してもすぐに病院に帰らざるを得ない患者の皆様も多く試行錯誤しながら進めています。

対策として昼夜ナースステーションで看護師が見守り、Youtube等の鑑賞、一般病棟患者の皆様と一緒に笑いヨガに参加していただく等、穏やかに過ごしていただく取り組みを行っています。



Youtube鑑賞

緩和ケア病棟 コロナ禍での取り組み

昼食時にディールームに集まって食事をしたり、ボランティアさんと行っていた週1回のティーサービスと、季節の行事は、病院のスタッフで行っています。



患者様のお誕生日には、ご家族、スタッフみんなで、お祝いをしています。感染対策で入室できないためタブレットを使用して、参加してもらっています。

テレビ面会や窓越し面会、当院で取り決めている感染対策を行いながらの面会や付き添いを行っています。



少しでも自宅で過ごしたい思いを叶えるために、タイミングを逃さずに一時退院や外出などのサポートも行っています。



在宅療養を継続できるように、24時間、365日対応しています。また、在宅医療専門のクリニックやかかりつけ医の診療所と連携しています。

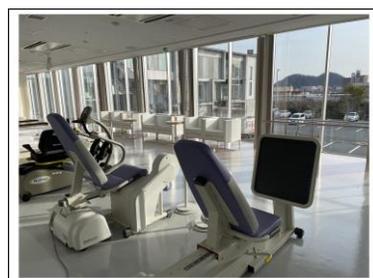
新型コロナ感染症対策の制限のある中で、リハビリや栄養、事務などの協力を得て、病院全体で取り組んでいます。



『慢性心不全緩和ケアでの心臓リハビリテーション』

高齢化社会を迎えたわが国では、慢性心不全が急増してパンデミックといわれています。慢性心不全の予後は癌よりも厳しく緩和ケアの提供が求められています。近藤内科病院では、慢性心不全に対して心不全基本薬の内服と心臓リハビリテーション（心リハビリ）によって予後の改善を図っています。また同時にACP活動も行っています。

心リハビリとは、心疾患の患者さんが、体力を回復し自信を取り戻し、快適な家庭生活や社会生活に復帰するとともに、再発や再入院を防止することを目的として行われます。心疾患の患者さんは、心臓の働きが低下し、運動能力や体の調節の働きが低下しています。心リハビリで適切な運動を行うことで、筋力や体力が徐々に回復し、以前と同じように日常生活が送れるようになる可能性が高まります。当院では主に、徳島赤十字病院と連携して、心疾患の患者さんを受け入れ、積極的に心臓リハビリを実施しており、継続して、心リハビリを行うことで、心血管病による死亡率や再入院のリスクが減少することが証明されています。



地域連携多職種協同

心不全療養指導士
心リハビリ専門PT

リハビリセンター

Fantastic4 心不全（HFref）治療の基本薬剤



心不全入院患者数（退院月）・死亡患者数

2018.6～2019.5		2019.6～2020.5		2020.6～2021.5	
退院患者	死亡退院	退院患者	死亡退院	退院患者	死亡退院
計	24	3	計	14	2
			計	25	0

2021.6～2022.5		2022.6～2023.5.21			
退院患者	死亡退院	退院患者	死亡退院		
計	27	0	計	42	1

『心臓リハビリテーション』の対象

- ①急性・慢性心不全
 - ②心筋梗塞後
 - ③冠動脈インターベーション後
 - ④TAVI（経カテーテル的大動脈生体弁植え込み術）後
 - ⑤心房細動カテーテルアブレーション術後 など
- ※心臓リハビリテーションは入院・外来・在宅でも行っています。

徳島往診クリニック（在宅緩和ケア充実診療所）

在宅緩和ケア充実診療所とは、機能強化型の在宅療養支援診療所の中でも、特に緊急往診・在宅看取りの実績が評価され、麻薬の使用経験に富んだ医療機関です。

～在宅緩和ケア・在宅輸血・在宅嚥下検査～

【自宅で提供可能なケア】

1. 定期的な訪問診療と訪問看護
2. 24時間対応の緊急往診・電話相談
3. お薬の宅配
4. 痛みの緩和
※麻薬の使用も問題なく可能
5. 在宅酸素療法
(人工呼吸・痰の吸引)
6. 経管栄養(胃ろう)
7. 点滴・中心静脈栄養
(IVH・CVポート)
8. 腹水・胸水の処置・腹膜透析・腎ろう
9. 在宅での入浴等、介護保険の利用
10. 病院や施設ホスピスと連携したケア
11. 在宅での看取り

輸血が必要な患者様にも
在宅医療をとの思いで、
在宅専門医ならではの
診療と24時間体制の
サポートを実現

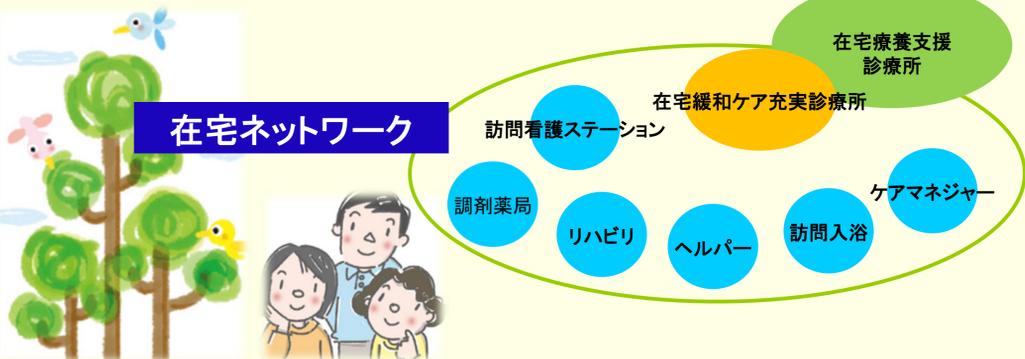


在宅緩和ケアに専門的に関わる施設へのアンケート調査で、がんの終末期患者さんの在宅療養期間は**わずか30日**に過ぎないということが判りました。このことは、患者さん側の「自宅で長い間寝たきりになったら、家族に大きな迷惑をかけてしまう」、あるいはご家族側の「ホントに最後まで介護ができるのだろうか」といった心配を軽くしてくれます。

充実した人生の終わりをご家族と共に過ごすためには、最期の30日を頑張ればいいのですから。

人生の終末期を過ごす場所として、緩和ケア病棟や施設に入ることに他に、「**ご自宅**」を選択することも可能です。

一般的に、「急に悪くなった時のために、入院しておこう」とか「家族の介護が大変だから入院しよう」といった考えに至る事が多いのですが、「思い切って最期まで自宅で過ごそう・過ごさせてあげよう」という選択肢を実現させるため、我々、在宅専門医や訪問看護師が在り、社会資源としての在宅ネットワークが活用できるのです。



当院では上記の他に次の取り組みをしています。

相談先として：
・入院中
⇒病院の医療ソーシャルワーカー
・在宅療養中
⇒地域包括支援センター
要介護認定あればケアマネジャー

1. 在宅輸血：対称となる疾患・骨髄異形成症候群・白血病・悪性リンパ腫・再生不良性貧血・慢性腎不全・胃癌、大腸癌、膀胱癌等からの慢性出血・癌の骨転移、化学療法に伴う骨髄抑制など、ご自宅で、**赤血球や血小板の輸血**をしています。

2. 在宅での嚥下機能検査・嚥下リハビリテーション

当院では耳鼻科の専門医がご自宅に訪問して、内視鏡により嚥下機能の検査をしています。



徳島市民病院

緩和ケアチーム

治療病棟では私たち緩和ケアチームが
あなたのがん治療や療養生活を支えます

緩和ケアチームの役割

- ✦ つらさを和らげるための方法を多職種で検討し、担当医に提案します
- ✦ がん相談員・緩和ケア認定看護師・臨床心理士・社会福祉士が、病院の相談部門におり、在宅療養中のいろいろな相談にも対応します
- ✦ がん治療や療養場所を決める際、患者さんとご家族の気持ちに寄り添いながら、一緒によい方法を考えます
- ✦ ご希望に応じて、主担当医からの病状説明に同席したり、意思決定に必要な情報をお調べします
- ✦ 家族の方のご相談にも対応します

在宅療養中の方への活動と在宅医との連携



<在宅医とのカンファレンス>

多職種チームで協働し

その人らしく生きるこ

とを支えます



入院中の方への活動



<訪問前の情報共有>



<多職種チームで検討会>



<病室訪問>

徳島赤十字病院

がんサポートチーム のご案内



主治医の先生と共に 多職種チームで 皆様を支援します

医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・公認心理師・社会福祉士・理学療法士・作業療法士

◆つらい症状がある

痛い、せこい、くわる、腹が張る、むかむかする、
息苦しい、だるい、手足がむくむ、眠れない

◆心配なことがある

気になる、やる気にならない…

◆お金が心配

治療費はどのくらいかかるかな？ お金いけるかな？

◆これからが心配

いつ退院できるかな？ 家で居たいけど…

◆食事が心配

何を食べたらいいかな？ 少しでも食べたいな…

◆動くのが心配

動いてもいいかな？ 最近、体力が落ちてきたな…

ご相談は、入院病棟 あるいは 外来Aブロック受付へ

医療・がん相談支援センターでは次のようなご相談をお受けしています

治療に伴う副作用等に関する相談

効果・副作用についてもっと詳しく聞きたい
治療に伴う脱毛や爪の変色、下着などで悩んでいる

症状緩和に関する相談

痛み、倦怠感、吐き気、息苦しさ、手足の腫れ、口が渇くなど、ゆっくり相談できないことについて知りたい

治療・処置に関する相談

人工肛門ケア、マッサージなどの理学療法、代替療法などについて知りたい

精神的不安に関する相談

生活や家族のこと、仕事の悩みなどゆっくり話を聞いてほしい

医療機関・介護老人福祉施設等の紹介

診断や治療について他の医師の意見を聞きたい
転医先の病院・施設について知りたい

訪問診療や訪問看護・介護サービスの紹介

在宅で療養・介護するにはどうしたらよいか聞きたい

医療費の相談

医療保険制度・高額療養費制度について知りたい

仕事に関する相談

治療しながら仕事を続けたい 短時間なら働けるようになったので相談したい

がんに関する図書・インターネットでの情報

がんに関する本や、治療に関する情報・いろいろな病院、患者会など知りたい

※注 個人情報に該当する内容は、患者様の同意がない場合にはお答えできませんのでご了承ください。



生活応援グッズのご紹介

① 抗がん剤の副作用による脱毛で悩んでいるあなたへ

“こんなものがあつたらいいな・・・”

治療中でも安心して、快適に過ごすために”

- ・医療用かつら・帽子の見本とパンフレットを準備しておりますので、お気軽にお立ち寄りください

② 乳房手術をした方の下着

乳房手術をした方の下着のカatalogと製品見本を準備しております

- #### ③ ストーマ(人工肛門)を造られたオストメイトやご家族へ
- ストーマケアや装具、皮膚トラブルなどのご相談に皮膚・排泄ケア認定看護師がお答えします
また、失禁や褥瘡などのケアについてもご相談ください



徳島赤十字病院では、がんとうまく付き合い、自分らしい生活を送るために患者さま同士で情報交換できる会を開催しています

日頃の思いを話すだけでも、聴くだけでも気持ちが軽くなる
ことがあります

- ・開催日時：毎月の第4金曜日
- ・参加できる方：当院で治療、療養を受けている患者様と
そのご家族
- ・参加申し込み：医療・がん相談支援センターにお申込み
ください
- ・参加費：無料
- ・場所：病院棟4階

新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み
現在休止中=再開検討中

患者ほっとハートサロン



- 相談日 : 月曜日～金曜日(祝祭日、創立記念日<5/1>、年末年始は除く)
- 受付時間 : 9:00～16:00
- 相談場所 : 病院棟1階 医療・がん相談支援センター
- 相談時間 : 直接面談 60分、電話相談 20分
- 相談料 : 無料
- 電話番号 : 0885-32-2555 (内線:3167)
- FAX : 0885-33-2204
- 相談方法 : 電話予約をお願いします



直接ご来院される場合は医療・がん相談支援センター
(病院棟1階・医療社会事業部内)へお越し下さい



お気軽にご相談下さい

徳島大学病院緩和ケアチーム

私たち緩和ケアチームは、治療中の方のサポートチームです!!



各診療科でがんを治療するために入院されている患者の皆様・ご家族の方に対して、日頃不安に思っていることや・困っていること（痛みや不眠、リンパ浮腫など）、様々な症状を緩和することを目的に、医師・看護師・薬剤師・臨床心理士・理学療法士・栄養士・医療ソーシャルワーカーなどが連携をはかり、患者さんやご家族のところまで直接伺わせて頂きます。

“緩和ケア”とは、病気と闘っている患者さんと、そのご家族を対象とした積極的なケアです。“緩和ケア”という言葉のひびきは、“終末期の方が受けるケア”と、とらえる方も少なくないかと思えます。しかし、“緩和ケア”とは、病期に関係なく、痛みをはじめとする、病気にとともなうさまざまな症状の緩和をめざすケアのことです。その中には、体の症状だけではなく、心のケアや社会・経済的な問題へのケア、退院後の療養生活に向けた支援、希望を支えるためのケアなどが含まれます。緩和ケアチームの紹介を希望される方は、主治医・看護師にご相談下さい。



緩和ケアセンター専従看護師



緩和ケアセンター連絡先

外線:088-633-7457

担当:緩和ケアセンター専従看護師

赤い矢印沿ってお越し下さい。

